

知的財産管理技能士・活動報告

テレビ局の仕事に知財管理の視点は必要不可欠 ―知財技能士アナウンサー日々奮闘中―

テレビ新広島アナウンサー 衣笠 梨代／二級知財技能士（管理業務）

月曜から金曜まで夕方のニュース番組のキャスターを務めたり、熱い精神で頑張る会社を紹介する番組のナビゲーターを担当するなど、ニュースキャスターとして、また記者として日々奮闘中のテレビ新広島アナウンサーの知財技能士が、自身の活動を通して感じる使命や知財管理の視点の大切さ、伝えていきたい思いなどを報告します。

【地元のニュースを伝えるキャスターとして】

テレビ新広島アナウンサーの衣笠梨代です。2015年10月から夕方のニュース番組のキャスターを担当しています。月曜から金曜まで広島の今を伝えるニュースをお届けして4年、観てくださる人にとって役に立つ充実した内容の番組を目指して微力ながらも日々奮闘中です。



広島は何と言っても「スポーツ」が熱い街。2016年に25年ぶりの悲願のリーグ優勝を果たし、その後3連覇を成し遂げた広島東洋カープのことは皆さんもご存知だと思います。戦後復興のシンボルとして1949年に誕生し、その後広島の人々とともに歩み続けたカープの存在は、まさに広島の希望そのものでした。長く続いた低迷の時代も変わらず声援を送り続けたカープファン。2016年のリーグ優勝が決まった日のことは一生忘れることができないでしょう。優勝決定の瞬間から街中で「おめでとう」のハイタッチが始まりました。小さな子どもからおじいちゃんおばあちゃんまでが、はち切れんばかり



の笑顔でハイタッチ。まるで街全体がひとつの家族のようになっていました。スポーツにはこれほどまでに人々を熱狂させ、心を繋ぐ力があるのかと思ひ知らされました。

世界における「平和都市・ヒロシマ」の役割の大きさも痛感しています。被爆者の高齢化に伴い年々減少する被爆体験の生の声、若者による記憶継承の取り組みなど、私自身も数多くの取材を行ってきました。2016年にはオバマ前大統領がアメリカの大統領として初めて広島を訪問。また去年はフランシスコ・ローマ教皇が広島で平和のための集いに出席。被爆地から世界に向けてメッセージを発信しました。人類が二度とあのような大きな悲劇を起こさないように、平和の大切さを訴え、世界の人々の心に届けていくこともテレビ局の使命だと感じています。



広島を語る時に忘れてはいけないのが「モノづくり」です。古くから「モノづくり」が盛んだった広島ではマツダの「自動車」、呉の「造船」、「熊野筆」、食産業では「お好み焼き」や「広島カキ」など多くのモノが生み出され、その名を世界に広めてきました。ポテトチップスのカルビーやジャムのアヲハタも広島で生まれました。豊かな発想力と想像力が広島の人々には脈々と受け継がれていることを感じます。原爆による壊滅状態から再び立ち上がり、そこからさらなる発展を遂げてきた広島の「モノづくり産業」はこれからも進化を続けていくはずです。

そんな広島という地で地元に着目し、視聴者の皆

さんに身近に感じていただけるニュースを目指して日々放送にあたっています。

【企業を紹介する番組「情熱企業～新たなる価値の創造～」】

ニュース番組の他に2018年からは熱い精神で頑張る会社を紹介する番組「情熱企業～新たなる価値の創造～」のナビゲーターを担当しています。2009年からシーズンごとに年間約25回、日曜の朝に放送している15分間の番組です。広島県内の様々な業種の会社を取材し、社長の考え方や社内風土、事業方針、社内教育にいたるまで、企業の根幹にも鋭く迫っています。同業種の方だけでなく、異業種の方にとっても、自社の状況との共通点を見出したり、自社に活かせるヒントがあったりと、参考になる点が多いと好評をいただいています。私自身こんな企業があったのか、こんな仕事があったのかと、毎回驚きや発見があります。技術と知恵を結集させたプロの仕事や、チームワークなど勉強になることも多く、働く人々の熱い思いに触れる度に心を動かされます。番組をお届けすることでまた新たな価値が生まれ、ひいては地域全体の活性化にも寄与できればという思いで番組作りに取り組んでいます。



【知財技能士資格取得のきっかけ】

「情熱企業」では知財技能士の桑原良弘さんに解説をしていただいています。桑原さんは地域と連動したビジネス開発支援を幅広く手がけておられ、企業の内に眠る強みを見つけ、その強みから新しいビジネスを提案されています。桑原さんのお話をお聞きしながら番組を進めていく中で、知財技能士に興味を持つようになりました。時代の流れに果敢に挑み、日々努力と成長を続ける企業の素晴らしさをお伝えしていく上できっと役に立つのではないかという思いから、資格取得のための勉強を始めました。これまで番組を担当してきた先輩たちも知財技能士の資格を取得しておりアドバイスもいただきました。

専門的な内容に最初は戸惑いました。しかし勉強

を進めていくうちに、知的財産が私たちにとって身近なものであることに気づき、どんどん興味が広がっていきました。仕事をしながら勉強時間を確保することは容易ではありませんでしたが、休日だけでなく、昼休みに食事をしながらや、OA前のメイクの時間にもテキストの読み込みに励みました。法律を学ぶ機会などもこれまでほとんどありませんでしたが、その成り立ちから学んでいくことで理解が深まったと感じています。そうしてなんとか2級技能士の資格を取得することができました。情熱企業の番組に役立つと思って始めた勉強でしたが、ニュースキャスターとして、また記者としても活かすことができると感じています。



【知財管理という視点を活用して】

モノがあふれている現代社会。そんな時代だからこそ、アイデアや技術力、創造性などの価値に対する評価も重要になり、知的財産への関心が高まっているのだと感じています。個人の、企業の、さらには日本の技術力や競争力を高めていくためにも、こういった視点を多くの人が共有する社会になっていくことが望まれます。

テレビ局の仕事においても知財管理の視点は必ず持たなければならない大切なものです。テレビ局の財産である映像の扱いや管理、楽曲の使用などに至るまで、日々の業務の中でもこの視点は必要不可欠です。さらに日々の放送においてもこういった視点を大事にしながら視聴者の皆さんにニュースや情報を届けていきたいと考えています。そして私たち自身これからも創造力を発揮して知的財産を生み出し続け、テレビを通じて新たな価値を追い求めていきたいと思っています。

ウェブサイト

「情熱企業～新たなる価値の創造～」:

<http://www.jounetsu-k.com/index.php>

「TSSプライムニュース」:

<http://www.tss-tv.co.jp/primenews/>